

**議員** ①「元気で長生き」を支える食事の充実と地域における楽しい交流は、自立を支えるための課題である。介護予防の観点からも、一人暮らしの方等に地域での共食の機会を提供し、孤食生活者の地域交流を図ってはどうか。②高齢者に向けたサービス事業の情報提供は、利用者に十



▲みんなで食べるとおいしいですね  
(東京都北区のふれあい食事会)

## 高年齢者の食生活支援 共食の推進で孤食改善を 「食を通しての生活支援方法も検討」

**鈴木 麗子 議員**  
①高齢者の健康維持のため、食のあり方は大切である。楽しみながら食べる共食の頻度が高いほど、食の内容や食行動の積極性も高いと言われる。今後の特定高齢者介護予防プログラム検討や地域との連携で、高齢者の生活を支える食の支援方法を検討する。  
②高齢者の福祉サービスガイドブックは3部つくり、担当課、社協等一部公共施設に置いてある。また、居宅介護支援事業所職員が届ける場合もあるが、今後はすべての高齢者に配付する方法も検討したい。

分届いているのか。

**福祉部長** ①高齢者の健康維持のため、食のあり方は大切である。楽しみながら食べる共食の頻度が高いほど、食の内容や食行動の積極性も高いと言われる。今後の特定高齢者介護予防プログラム検討や地域との連携で、高齢者の生活を支える食の支援方法を検討する。

**教育部長** 修学旅行の実施主体は学校であるが、選択肢の一つとして学校側に情報提供をすることで、この施設の活用についても調査研究をしていきたい。

### 乗降スペースの改修を

**議員** 「ふれあいランド戸田」利用者が雨に濡れずに送迎バスに乗降できるように、車寄せスペースの改善をしてもらいたい。

**福祉部長** 21年度以降の予算で対応したい。

### 修学旅行で防災学習を

**議員** 阪神・淡路大震災の記憶を語り継ぐため神戸に建設され、毎年多くの中学生が団体で訪れる「人と防災未来センター」を修学旅行訪問先の選択肢の一つに加え、防災への知識と減災の学習の機会としてはどうか。

### 一般質問

### 手塚 静枝 議員

## 女性の再チャレンジ支援 きめ細かいサポートで

「各課と連携を図りながら支援する」

**議員** 結婚、出産、子育てなどで仕事をやめ、その後、さまざまな理由から再就職を希望する女性のための再チャレンジ支援がようやく国や県レベルで実施されるようになった。本市でも仕事と家庭、子育てなどを両立させたいと願う女性の再就職を、よりきめ細やかにサポートできるように、

**総務部長** 市では、男女共同参画センター「ピリブ」において、県との共催で「再就職支援セミナー」の開催や、必要な技能の習得に医療事務講座を開催するなどの支援をしている。  
就職・再就職に関する情報提供にミニハローワーク戸田、大宮のマザーズサロンを紹介するなどの支援をしている。  
また、今年度実施した



▲女性の再チャレンジを支援する  
大宮マザーズサロン

「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果をもとに、第4次男女共同参画計画へつなげていきたいと考えている。今後も、女性の再就職をサポートできる体制を関係各課と連携を図りながら支援していく。

**議員** 笹目中学校南側の市道5005号線及び4012号線は、幅員も狭く、大きな貨物トラックなどが頻りに往来し、住民にとっては危険な道路である。笹目中西信号交差点を右左折する大型自動車の進入禁止の規制をかけることはできないか。

**市民生活部長** 最大5トン以上の貨物車は、事実上、通行困難であることや、仮に規制をしたとしても、周辺の生活道路への進入が増え、かえって危険が予想されるので、難しい。

### 大型自動車の進入規制を

### 学校給食の安全性は

**議員** 中国産の冷凍餃子事件などが発生し、学校給食の安全性が心配されている。物資選定の今後の対策として、単独校にも保護者参加の物資選定委員会を設置し、給食センターと相互の情報交換の場を設けるべきではないか。



▲安全対策が求められる  
メゾンエメラルド前交差点

**議員** 就学後の子ども医療費助成の年齢を拡大する自治体が増えている。さいたま市、蕨市でも年齢拡大を発表した。本市でも年齢拡大の試算を行っているのはどうか。

**福祉部長** 年齢拡大は現段階においては難しい。試算については、今後、乳幼児医療費助成制度をどのように進めていくべきか検討する上でも必要なこと。方法も含めて検討する。



▲行政経営の視点で改革が進んでいます

**議員** 補助金は、協働により事業を始めるための支援や、既存団体への自立支援であり、長年にわたり前例踏襲で支援をしている団体を見直し、客観的に見て適正な効果があるかどうかどうかの精査を行っているか。  
①補助金、助成金など  
②補助金を始めるための支援や、既存団体への自立支援であり、長年にわたり前例踏襲で支援をしている団体を見直し、客観的に見て適正な効果があるかどうかどうかの精査を行っているか。  
③毎年、その決算時期に、補助金の使われ方などの活動内容を把握し、まだ補助金が必要かどうかを精査し、補助・助成交付をしているが、各部署担当者が把握して行っているのか。また、見直しとこの基準、根拠は。  
④市経営改革プランに沿った方針で、補助金等に関して、対象団体へは、見直しや廃止をするとうたわれているが、どのような方針で臨むのか。

**総務部長** ①団体へ交付する事業は、136事業あり、部局別内訳は、議会事務局2、総合政策部2、総務部21、市民生活部21、福祉部16、都市整備部6、医療保健センター18、消防本部7、教育委員会52、選挙管理委員会1となっている。  
②補助金の根拠規定に基づき、各部署で精査し、交付している。新規補助金のうち、政策枠に関しては、市補助金等調査検討委員会で審議している。  
③年度ごとの見直しについては、予算編成説明会において重点見直し項目を示し、各部署で活動内容を把握した上で実施している。  
④対象団体に対し、理由なく一律10%削減ということはしない。内容を精査し、対象団体、市民の誰もが客観的に見て納得のいくよう事前に説明し、見直ししていく。

### 子ども医療費助成の年齢拡大を

「方法も含めて試算を検討する」

**議員** 新曽地区の交通安全対策を

**議員** 新曽地区の交通安全対策を

故件数は、他地区の4倍の件数になっている。特に事故が多発しているメゾンエメラルド前交差点の対策強化を。

**都市整備部長** 舗装の打ち替え後に、一時停止側に薄層舗装を施し、その上に狭帯感を出す路面表示を来年度優先して行う。また、蕨警察としても、一灯式信号機灯具の大型化について、県警と協議していくことである。